

上海市における徳島県 PR イベント

平成 30 年 1 月 4 日
徳島県上海事務所

現在、中国から日本への観光客数は国・地域別でトップとなっておりますが、まだまだ徳島県を訪れる中国人観光客は多いとは言えません。そこで、少しでも徳島県のことを知ってもらい、徳島県に行ってみたいと思ってもらえるよう、中国の中でも最も訪日旅行が盛んであると言える上海市において、平成 29 年 9 月 7 日から 9 日にかけて、阿波おどりの踊り手 19 名を徳島県から招聘し、徳島県の文化や観光などを PR するイベントを開催しました。

徳島県観光文化交流会 ～魅力徳島～

9 月 7 日、8 日、上海環球金融中心(以下、SWFC)において、「徳島県観光文化交流会 ～魅力徳島～」を開催しました。SWFCは、上海市内で第 2 の高さを誇り、その独特の風貌から上海市のランドマークにもなっているビルです。この SWFC100 階の展望台において、イベントの開幕式として、「天空の阿波おどり」と題した阿波おどり公演を行いました。展望台の高さは地上 474m で、SWFC のすぐ隣にある上海中心大廈が今年 4 月に営業を開始するまでは世界一高い展望台であったことから、阿波おどりの歴史上、最も高い場所で行われた阿波おどりであると考えられます。開幕式には、在上海日本国総領事館の亀井首席領事をはじめ、日中双方の日中文化・観光交流に関わる組織の方々に来賓としてお越しいただきました。



天空の阿波おどりの様子1



天空の阿波おどりの様子2

SWFC2 階の円形広場においては、徳島県観光 PR ブースに加え、LED製品や藍染製品、大谷焼などの伝統工芸品を展示するブースを設置。また、実際に旅行商品や伝統工芸品の販売に繋がれるよう、徳島県へのツアーなどを扱う現地旅行会社や徳島県の伝統工芸品を扱う上海市内の日系小売店にもブース出展してもらいました。この円形広場でも、SWFCに入居するオフィスで働く人たちの昼休み時間に合わせ、阿波おど

り公演を実施。突然流れ始めた太鼓や鉦の音に誘われ、多くの人が阿波おどり公演を見に集まりました。



現地旅行会社ブース



SWFC2階での阿波おどり公演

徳島県文化観光交流会 ～400年の歴史を体験！ 阿波おどり教室～

9月9日には、外務省の「地方の魅力発信プロジェクト」のスキームを活用し、在上海日本国総領事館との共催で、同多目的ホール及び広報文化センターにおいて、「阿波おどり」を中心に徳島県の文化、観光などをPRする「徳島県文化観光交流会 ～400年の歴史を体験！ 阿波おどり教室～」を開催しました。

イベント当日は、広報文化センターの会員をはじめとする90名の上海市民の方が参加。鳴門の渦潮や祖谷のかずら橋などの徳島県の観光地に関するプレゼンに加え、阿波おどりの歴史や用語などの解説といった阿波おどりをより深く知ってもらうためのプレゼンも行いました。

その後、阿波おどり公演を行ったのですが、SWFCでの阿波おどり公演に比べ、踊り手とイベント参加者との距離が近いことから、イベント参加者にとって、迫力溢れる公演となりました。阿波おどり公演後には、踊り手の方が講師となり、阿波おどり教室を開催。阿波おどりの基本的な動作を参加者にレクチャーし、イベント参加者と阿波おどりの踊り手が大きな輪になって、一緒に阿波おどりを踊りました。今回のイベント参加者は、日ごろから日本に興味を持っている方がほとんどであったため、皆さんが積極的に阿波おどりを踊ってくださり、イベントは大盛り上がりとなりました。



輪になったの阿波おどり



踊り手との記念撮影

イベント終了後に実施したアンケートを見てみると、徳島県に行ってみたいと思っていた参加者が予想以上におり、今回のイベントの手ごたえを感じております。

今回はSWFCと在上海日本国総領事館での公演を通じて、日中政府関係者、一般市民、日本文化愛好者と多様な人たちに向けて阿波おどりによる観光PRを行うことが出来ました。当事務所としても、観光誘客ツールとしての阿波おどりの有効性に注目しており、上海市において市民を対象とした阿波おどり同好会を立ち上げるなど新たな試みを始めています。

また、外務省の「地方の魅力発信プロジェクト」のスキームを活用することで、会場費などの費用を押えながら、日本に興味を持った方に効果的なPRができると思いますので、今後も機会があれば、同プロジェクトのスキームを活用したイベントを実施できればと思っております。